

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【新城市立東郷中学校】

1 実践テーマ	【 II・V 】
2 実施対象者	新城市立東郷中学校 全校生徒238名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (美術科)</p> <p>② 行事名 (車椅子バスケットボールを学ぶ会)</p> <p>③ その他 (メダルの原材料収集)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>1 イベント名 ()</p> <p>2 その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科指導やボランティア活動にオリンピック・パラリンピックに関係する内容を取り入れたり、パラリンピアンになるために競技に取り組んでいる選手の話や実際のプレーを観たり体験したりすることで、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を向上させる。
5 取組内容	<p>(1) 教科<美術></p> <p>「粘土で表現するオリンピック・パラリンピックの競技種目」</p> <p>ア 事前学習</p> <p>オリンピック・パラリンピックの競技種目調べとスケッチ</p> <p>イ 制作活動(授業)</p> <p>競技の特色を表現する</p> <p>ウ 事後学習</p> <p>作品鑑賞</p>



(2) 行事<講演・体験会>

「車椅子バスケットボールを学ぶ会」

ア 事前学習

オリンピック・パラリンピックの知識調査

車椅子バスケットボールのビデオ視聴

東京五輪音頭 2020 放送（講演・体験会前の 1 週間）

イ 当日

パラリンピック強化指定選手による講演・体験会

① 自己紹介

② 車椅子バスケットボールについて

③ 車椅子バスケットボールの体験

ウ 事後学習

感想文作成



(3) その他<メダルの原材料収集>

「家庭で不要となった小型家電の収集」

ア 事前学習

収集を行うボランティアグループ立ち上げの呼びかけ

市役所担当課への確認

各家庭向け収集協力依頼文書の配布

イ 当日

11月19日（月）から
12月7日（金）までの3週
間にわたり、収集を行う。

ウ 事後学習

市役所担当課へ搬入



6 主な成果

- オリンピック・パラリンピックの競技種目を粘土で表現する活動を行うことで、実施されている競技種目にはどのようなものがあるのかを知ることができた。
- 車椅子バスケットボールの体験活動を生徒が主体的に司会進行や応援旗と看板づくりなどを行うことで、競技の難しさを体感するとともに、おもてなしの心を備えたボランティア精神を育成することができた。

	<ul style="list-style-type: none"> メダルの材料となる小型家電を収集する活動を通して、オリンピック・パラリンピックという大きなスポーツイベントの開催に向けて少しだけ関わることができたという気持ちをもつことができた。 事前アンケートでは、車椅子バスケットボールについて詳しく知っている生徒はほとんどいなかったが、体験することでパラリンピックやその競技への興味・関心を高めることができた。 講演会を行う週を「オリ・パラ推進週間」と位置づけ、東京五輪音頭 2020 の放送や応援旗（応援メッセージ書込み）の作成、さらには、オリンピック・パラリンピックの旗やエンブレムを校内に飾ることで、生徒・職員の多くがオリンピック・パラリンピックについての知識を高めることができた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> 美術科における制作活動では、制作したものがオリンピック・パラリンピアンであることが分かるように国旗を入れたり顔に表情を加えたりするように丁寧な仕上げを意識して作業に取り組みさせた。 「オリ・パラ推進週間」を設定することにより、「講演・体験会」に望む気持ちを高揚させた。 「東京五輪音頭 2020」の DVD を市教委から借用したり、メダルの材料収集を行うために市役所担当課と連携をとったりするなど、外部の協力を得ることによって、事業への取り組み意識を高めた。 「講演・体験会」当日に向けての準備や当日の進行を生徒に任せることで、スポーツへの関わり方にはいろいろな形があることを知るとともに、スポーツを楽しむ心の育成を図った。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピックの意義や歴史に関して知らない生徒が多く、オリンピックやパラリンピアンを招いて講演を聴いたり体験活動ができたりする機会を多くもてるとよい。 今回は講師 2 名にお越しいただいたが、できれば 10 名ほど来ていただき、試合をする様子を見ることができるとよかった。 競技用車椅子の数の関係もあり、体験できる生徒数が 20 名程度に限られた。できるだけ多くの生徒が体験できるよう工夫が必要である。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> オリンピックイヤー前年となることや今回お越しくくださった講師の方の講演継続希望もあることなどから、前向きに検討したい。